

創業からバレル研磨加工に
一途に取り組む納期
相談
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

注水による水平回転研磨機の微調整

主な事業内容

バレル研磨加工（バリ取り、
スケール除去、鏡面仕上げなど）

主な取引先（納入先）

自動車、自転車向けプレス部品メーカー、
ガスコンロ機器メーカー、半導体メーカー

主な製品

ゲーム機器部品、自動車用ばね受け皿、
自動車ハンドル用カバースト業務
内容
仕上げの要
バレル研磨一筋

昭和56年8月の創業以来、バレル研磨一筋でやってきた。西村幸芳社長が家業を手伝っていた時に、偶然出会ったオーディオ機器部品のバレル研磨による美しい鏡面仕上げを見て感動したのが、この道にのめり込むきっかけとなった。

バレル研磨はワーク（対象物）と研磨剤、研磨助剤の相対摩擦によって加工を行う。プレス部品のバリ取り、熱処理品のスケール除去、鏡面仕上げ、R（丸み）付けなどに利用されている。建設現場で使用する安全帯（命綱付きベルト）に使われる部品では、バリ取りやR付け加工の仕上げが不十分な場合、綱の切断にもつながるなど、作業者の命に関わる大切な工程だ。

強み
職人の経験や勘から
数値管理へ

同社ではマイクロスコープ、表面粗さ測定器、投影機といった検査設備を近年積極的に導入し、従来からの職人の経験や勘による作業から、数値への移行管理に力を入れてきた。人の目ではわからない微細な表面の粗さ、残留

社長あいさつ

代表取締役社長
西村 幸芳さん

バレル研磨機をどこよりも多く保有し、短納期・大量受注に対応できる強さを持っていますが、それでもまだ大阪に集まる仕事のほんの数パーセントの売上しかありません。今後は大阪に仕事が集まるように業界を越えた協力をもっとしていきたい。そしてさらなる売上げの拡大を目指します。

主な保有設備

- 平行式回転バレル研磨機 200L&400L 88台
- 可傾式回転バレル研磨機 120L 14台
- サークル&ボックス振動バレル 150L&300L 6台
- 高速遠心バレル研磨機 20L&30L 8台
- 乾式バレル研磨機 DC1000TD-32TU

大阪
01 ISO 9001

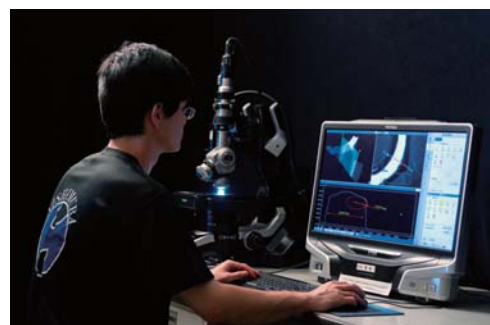
住 所／〒574-0052
大東市
新田北町6-17
T E L／072-889-1005
F A X／072-889-1006
創 業／昭和56年 8 月
設 立／平成 9 年12月
資本金／1,000万円
従業員／26名

人材
育成
独自の検定制度で
技術者を育成

データを蓄積した後、そのデータをどう生かすかの最終的なカギは従業員が握っている。バレル研磨に関する国家資格がなく、若手の従業員などが目標とする技能水準がわかりづらかったことから、同社では平成27年に社内独自の「バレル技能検定制度」を設けた。1級から4級までを揃えるが、バレル研磨の前工程に当たる金属プレス加工や、後工程の熱処理やめっきなどの知識も問われる内容となっており、高度な知識を要する難関という。西村社長は、「バレル研磨工程の周辺まで知っておくことで、顧客からのそれぞれの要求がなぜあるのか、何が大切なのかが見えてくる」と語る。



社内検定実施風景



マイクロスコープによる検査


<http://www.barrel-n.co.jp/>